

野球

第96回全国高等学校野球選手権 滋賀大会

2回戦

彦根東 8—1 彦根翔陽



▼3回表、好走塁を見せホームインする篠原君

7月21日、第96回全国高等学校野球選手権滋賀大会の2回戦が行われた。本校は彦根翔陽高校と対戦し、8—1（7回コールド）で勝利した。これにより7月24日に皇子山球場で行われる草津東高校との3回戦に出場する。

7回コールドで初戦を快勝
「自分たちの野球ができた」

彦根東は初回、高田竜汰君（3—6）の二塁打を足掛かりに1死1・3塁のチャンスを作ったが、得点に至らなかった。続く2回も2死満塁としたがあと一本が出なかった。そして3回、先頭の手原健太郎君（2—3）がライトへの二塁打で出塁する。2アウト後に篠原連君（2—5）が先制適時三塁打を放ち、相手のエラーも絡んで自身も生還し2点を挙げた。先発の川副智哉君

最初の得点にながった場面では、必ず一本を

点につなげた。

今日3打点の篠原君は「最後の7回は自分たちらしい野球をすることができ、大量得点につなげた。」と話した。

試合後、監督の村中隆之先生は「対策の成果もあり、後半に持ち前の野球をすることができた」と話され、次の試合に向けて「相手ピッチャーの投球に上手く対応し、野手がしっかりと得点をとれるようにしたい」と意気込まれた。

主将の鎌田涼一郎君（3—2）は「試合前は緊張していたが、ベンチに入れない3年生が試合に出る2年生に声をかけ、元気づけてくれたことで良い流れを作ることができた」と話した。

力強く話した。



（3—7）は要所を抑える投球で6回まで彦根翔陽打線に得点を与えなかった。2点差のまま迎えた7回。相手のエラーや四球などで1死2・3塁とし、高田君のセンター前適時打で2点を追加した。さらに2死満塁と攻めて、暴投と篠原君のレフトへの適時二塁打、中澤篤史君（2—6）の適時二塁打でこの一回一挙に6点を入れた。その裏、1死2・3塁から犠飛で1点を失ったが後続を抑え、7回コールドで勝利を収めた。

3回戦 対 草津東
7/24 皇子山球場 10時

	一	二	三	四	五	六	七	計
彦根東	0	0	2	0	0	0	6	8
彦根翔陽	0	0	0	0	0	0	1	1

彦根東高校新聞

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号